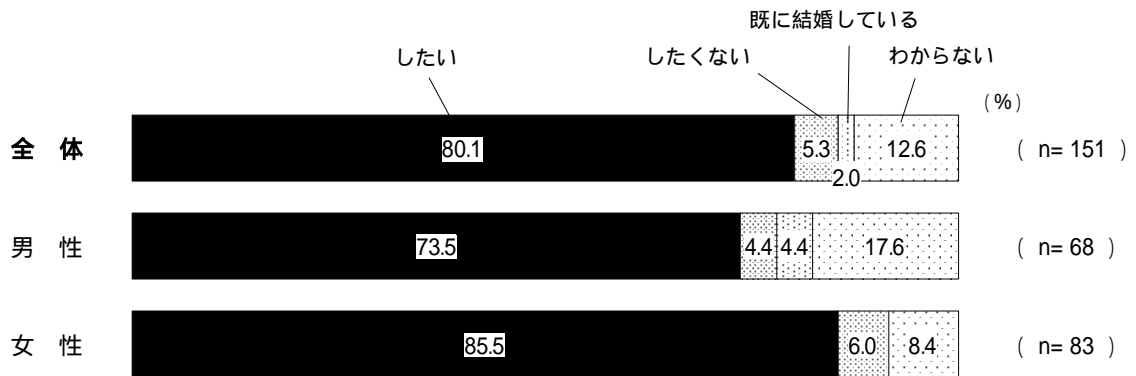


第5部 成人意識調査

1 結婚

問4 あなたは、将来、結婚したいと思いますか。(は1つだけ)

図1



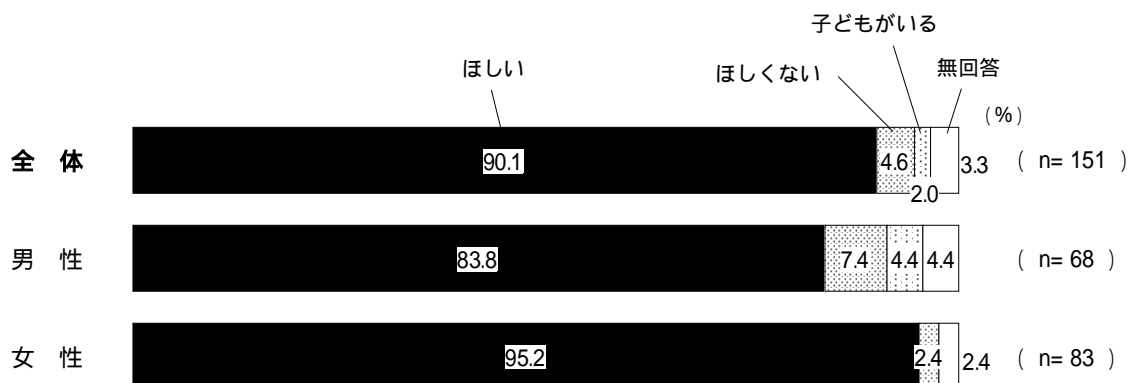
将来、結婚を「したい」が80.1%と、断然多くなっている。

性別でみると、女性では「したい」が85.5%と、男性(73.5%)より多くなっている。

2 子ども

問5 あなたは、将来、子どもがほしいと思いますか。(は1つだけ)

図2



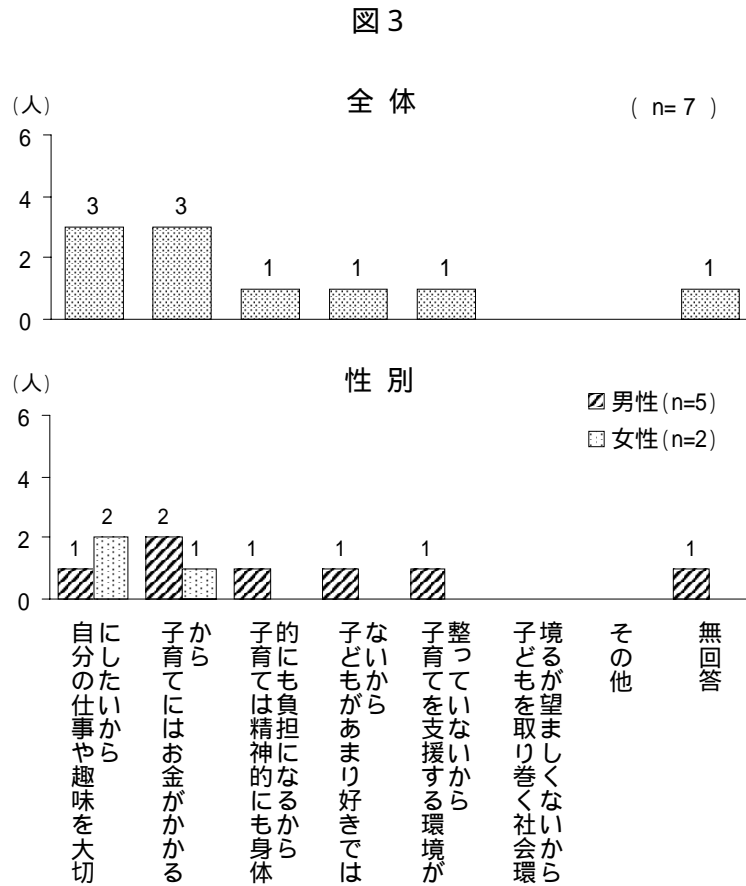
将来、子どもが「ほしい」人は90.1%を占めている。一方、「ほしくない」は4.6%である。

性別でみると、女性では「ほしい」が95.2%と、男性(83.8%)を上回っている。

3 子どもがほしくない理由

(問5で「2. ほしくない」とお答えの方に)

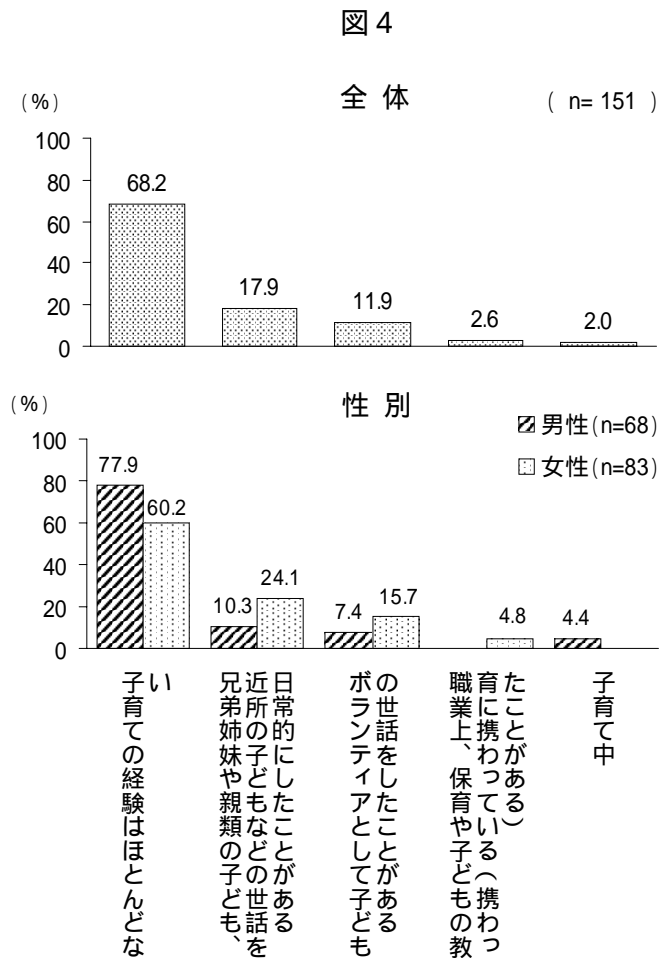
問5 - 1 その理由は何ですか。(は2つまで)



子どもが「ほしくない」という人(全体の4.6%、7人)に、その理由をきくと、「自分の仕事や趣味を大切にしたいから」が3人、「子育てにはお金がかかるから」が3人となっている。

4 子育てに関わった経験

問6 これまでに子育てなどに関わったことがありますか。(はあてはまるものすべて)

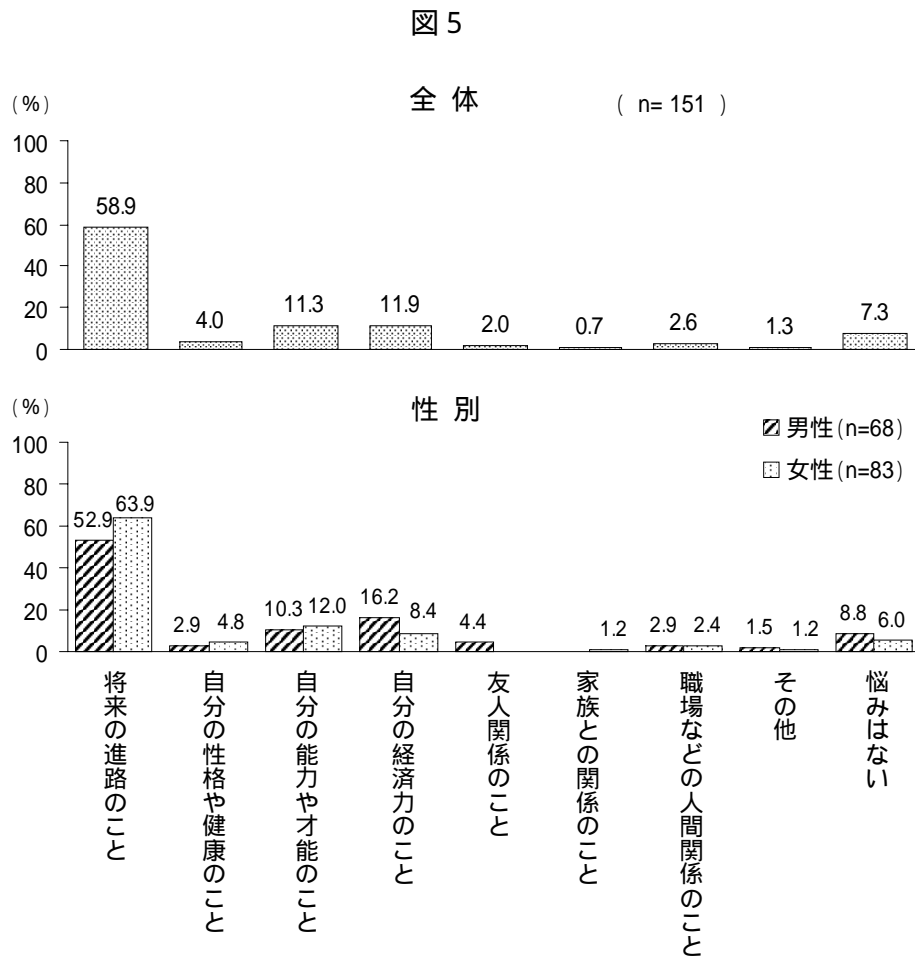


子育てに関わった経験については、「兄弟姉妹や親類の子ども、近所の子どもなどの世話を日常的にしたことがある」が17.9%、「ボランティアとして子どもの世話をしたことがある」が11.9%となっている。一方、「子育ての経験はほとんどない」は68.2%を占めている。

性別でみると、「兄弟姉妹や親類の子ども、近所の子どもなどの世話を日常的にしたことがある」は男性10.3%・女性24.1%、「ボランティアとして子どもの世話をしたことがある」は男性7.4%・女性15.7%と、いずれも女性の方が多くなっている。

5 悩んでいること

問7 あなたが、今、一番悩んでいることは何ですか。(は1つだけ)

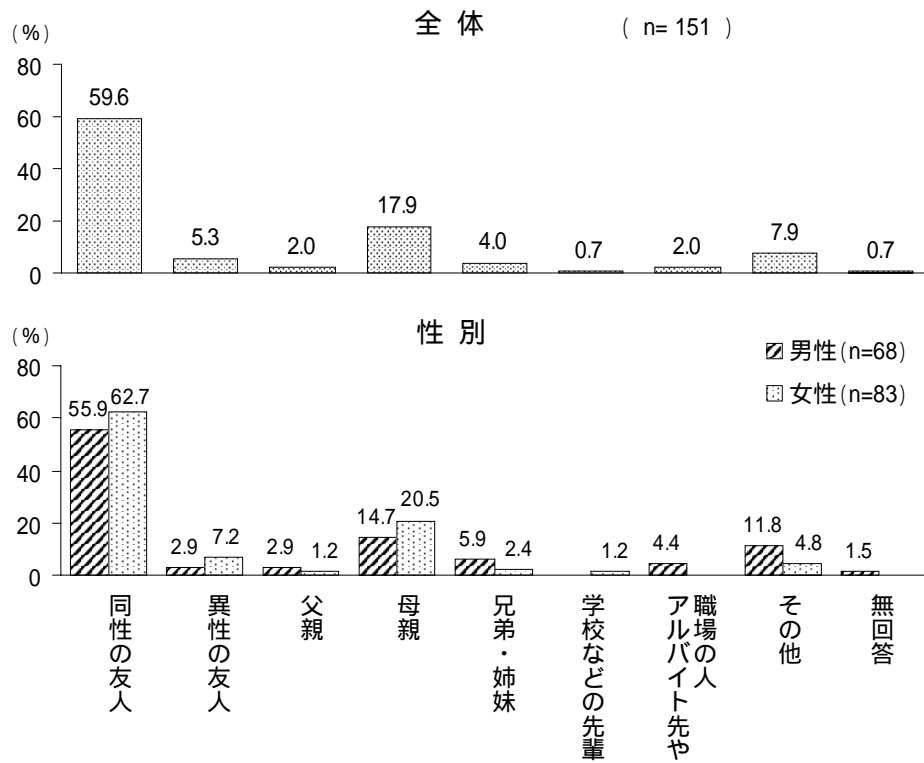


一番悩んでいることは、「将来の進路のこと」が58.9%と、圧倒的に多くなっている。
性別でも、「将来の進路のこと」が男性52.9%・女性63.9%と男女とも多くなっている。

6 相談相手

問8 あなたが困ったとき、一番相談にのってくれるのは誰ですか。(は1つだけ)

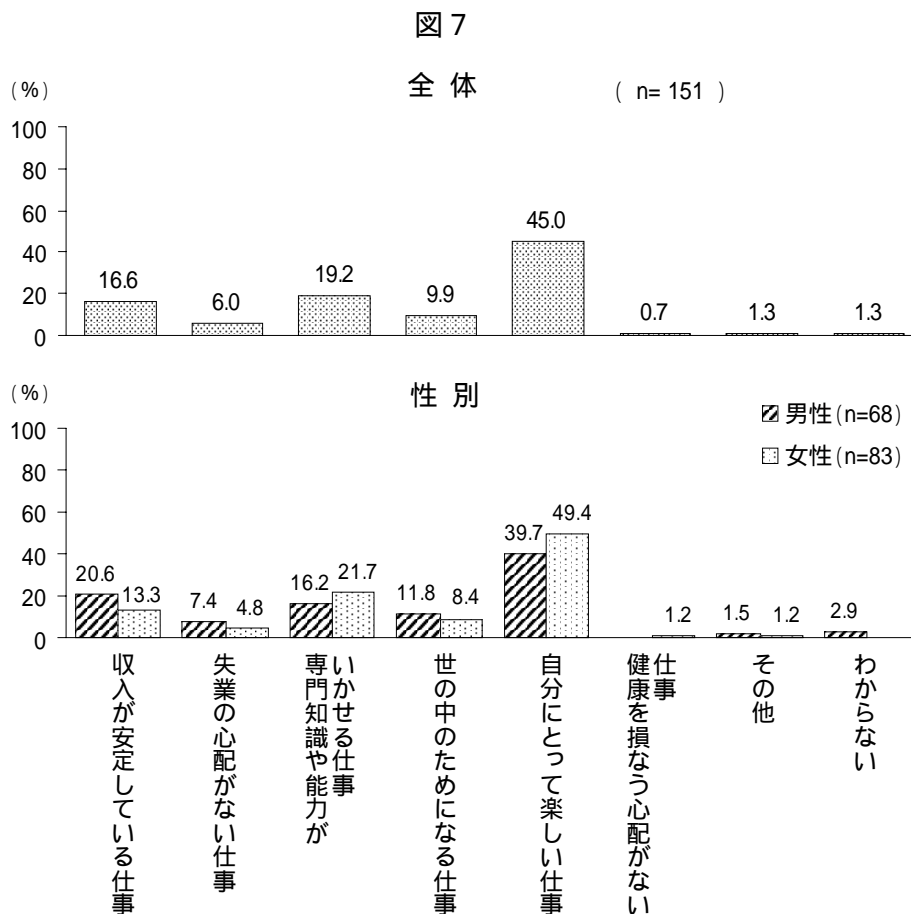
図6



困ったときの相談相手としては、「同性の友人」が59.6%と断然多くなっている。
性別でも、「同性の友人」が男性55.9%・女性62.7%と、男女とも多くなっている。

7 理想の仕事

問9 世の中には、いろいろな仕事がありますが、あなたにとってどのような仕事が理想だと思いますか。(は1つだけ)



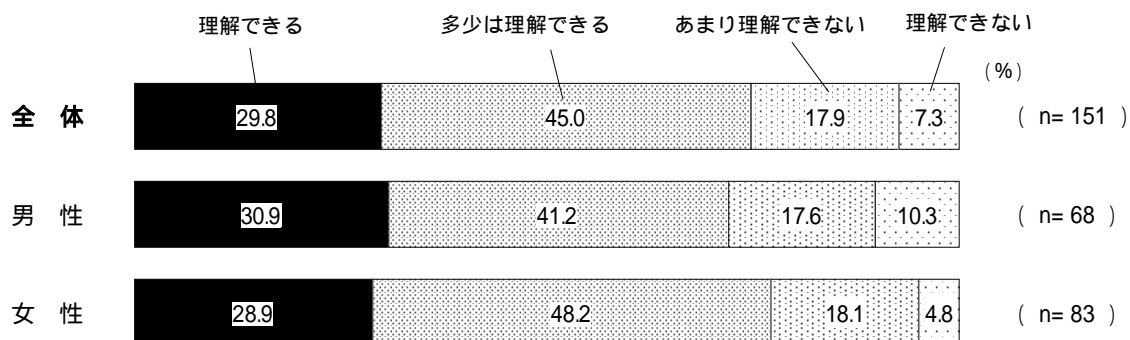
理想の仕事としては、「自分にとって楽しい仕事」が45.0%とで最も多くなっている。

性別でみると、女性では、「自分にとって楽しい仕事」が49.4%と、男性(39.7%)を上回っている。また、男性では、「収入が安定している仕事」が20.6%と、女性(13.3%)に比べて多くなっている。

8 職業観

問10 「決まった職に就かず、多少収入は不安定でも、好きなときだけ仕事をする」という職業観があります。あなたは、このような考え方についてどう思いますか。(は1つだけ)

図 8

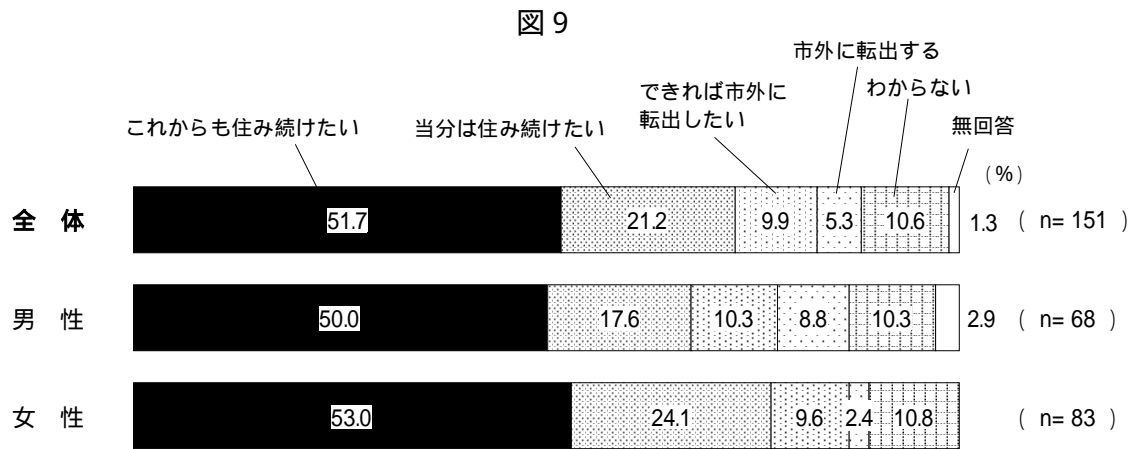


定職に就かず、好きな仕事をするという生き方については、「理解できる」が29.8%で、これに「多少は理解できる」(45.0%)を合わせた 容認派 は74.8%を占めている。

性別でみると、容認派 は、男性72.1%・女性77.1%と、男女とも7割を越えている。

9 定住意向

問11 あなたは、これからも鎌倉市に住み続けたいですか。(は1つだけ)



鎌倉市に「これからも住み続けたい」と思っている人は51.7%で、これに「当分は住み続けたい」(21.2%)を合わせた定住意向は72.9%を占めている。一方、「できれば市外に転出したい」は9.9%、「市外に転出する」は5.3%である。

性別で見ると、定住意向は男性67.6%・女性77.1%となっている。